

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.359 2018.4.2 連絡先 402-1622 >



国保要請署名1240筆、尾花市長に提出 和歌山民商・市社会保障推進協議会

3月26日（月）、市社保協事務局と和歌山民商、新婦人和歌山市支部が国保の要請署名を市長に提出しました。署名は保健医療部長が受け取りました。私松坂も、同席しました。

要請事項は、

1. 保険料は引き下げること。
2. 国の減免制度に加えて、市独自の減免制度の確立と拡充を行なうこと。
3. 滞納者がでないような保険料設定ができるよう市が財政援助を行う



こと。

4. 国民健康保険への国庫負担の増額を国に要請すること。
- の4点です。

市は、「保険料はできるだけ抑制したい」「市独自の対応は困難」「国に機会あるごとに要請していく」と回答しました。

懇談では、民商会長が「高すぎる国保料。この署名は民商会員、市民の悲鳴である」として真摯な対応を求めたのに対し、保健医療部長は「4月から財政運営が県に移行され県から納付金額が示されるが、みなさんへの負担（保険料引き上げ）は極力避けたいと考えている」と答えました。今年度の国保料については「6月の通知まで決まらない。ぎりぎりまで努力する」との回答でした。今回の署名提出は時期的にも有意義なものでした。（市社保協ニュースより引用）

みち子のひとりごと お花見

公園などのお花見にアコーデオンを持って行ってみんなで歌うとき、周りにはほかのグループもあり、少々気を遣います。

先日ある場所で弾き始めると、隣のグループではリズムをとったり手拍子しているのを見えました。また、準備をしていた人から「あとで高齢者の方々と来るので一緒に歌わせてほしい」と要請もありました。さらに片づけていたら、別のグループの方から「もっとやって欲しかった」と言われたよ、との話もありました。喜んでもらっていたことを知り、うれしい限りです。

そういうえば以前、隣のグループから「誕生日の人がいるから弾いてほしい」とハッピーバースデイをリクエストされたことがあります。みんな楽しく歌うお手伝いができることが何よりです。

ただ今回、直接話さず、私今度、県政に挑戦します」と言えていないのが、残念ではありますが…。



いつも心にマウンテン

議会も終わりに近づいた3月19日、議会で人権に関する勉強会がありました。

講師は、「いじめ撲滅」「自殺反対」を掲げて全国を回り、歌やお話、映像を使って訴えている「登天ポール」さん。

彼は2006年、いじめを苦しめた自殺が相次いだ時に何かできないかと思い、「いじめがなくなるかわからないけどせめてエールは送れる」と、エンターテインメントの衣装のままで渋谷へ飛び出し、「いじめ撲滅」「自殺反対」そして、あきらめずに登っていこうという標語「いつも心にマウンテン」の三つの言葉を書いたのぼりを立てて、明るく歌い踊って訴えたのだそうです。路上ライブを続けるうちに、「いじめは渋谷だけではありません…」というメールが入り、全国を回ることを決意。2007年5月から12月まで8カ月かけて全都道府県を回りました。その後もずっと、先の三つの言葉を掲げて、活動を続けておられます。

阪神淡路大震災を経験し、苦しい時こそ明るく笑って前へ、ということを知ったことや、全国各地での出来事など話して下さいました。その活動に頭が下がります。彼の活動に励まされた人はたくさんいるでしょう。私も元気をいただきました。自分のできることで、役に立てればと思います。



こんにちは

井本ゆづいちです



地味な映画は全国ロードショウであっても和歌山にはすこし遅れてやってきます。やってくるのはまだましで、先週紹介した「否定と肯定」などは、和歌山に來ないので、東大阪市まで観に行きました。こんど観たいと思っているのは「ウィンストン・チャーチル ヒトラーから世界を救った男」です。ことしのアカデミー賞で

主演男優賞とメイクアップ&ヘアスタイリング賞を受賞しました。3月30日公開ですが、和歌山での上映は6月になるそうです。6月まで我慢できるかなあ。アカデミー賞をもらっていないから和歌山に來なかつたかも知れないので、まだいいほうなのです。

憲法を考えるタベ これからの日本 憲法と教育の危機

政治と行政の歪みを追及してきた
前川喜平と寺脇研が熱く語る！

講演① 前川喜平氏
講演② 寺脇 研氏

4月27日 (金)
プラザホープ4階ホール
会場 午後5時30分
開演 午後6時00分

主催：青年法律家協会和歌山支部